

## あなたが社長なら自動車の組み立て工場をどこに建てるか？

愛知県犬山市立犬山南小学校 川井 栄治

### 1. はじめに

1台の車には、およそ3万個の部品が使われており、それらの部品をいかに効率よく組み立て工場に運び、完成した製品を消費地に輸送するかが課題になる。トヨタ自動車には、ジャストインタイムという、「必要な部品を、必要な時に、必要なだけ届ける」システムが確立している。そのシステムを支えるために、組み立て工場や関連工場の立地は工夫されているが、ここでは地図帳を活用して、「あなたが自動車会社の社長なら、愛知県のどこに自動車の組み立て工場を建てるか？」各自で工場立地の候補地を考えさせ、話し合いを行う計画を立ててみた。

### 2. あなたが自動車会社の社長なら、愛知県のどこに自動車の組み立て工場を建てるか？

まず、愛知県のおもな都市や道路、鉄道が載っている地図を用意し、どこに組み立て工場を建てるのか各自で候補地を考えさせる。予想される意見は次のようであろう。

- ①都市部（名古屋、岡崎、豊橋など）理由：都市にはいろいろな工場があって、自動車の部品を作れそうな工場がたくさんありそうだから。
- ②港のある場所（名古屋港、衣浦港、豊橋港など）理由：海に近いので、完成した車を船で輸送するときに便利のため。
- ③高速道路沿い（一宮、小牧、春日井、豊田、岡崎など）理由：自動車部品を集めたり、完成した車を輸送する際に便利のため。
- ④山間部（三河）理由：土地が安いので大きな工場を建てやすい。

これらの意見をお互いに発表し討論をさせることで、具体的な候補地をしぼらせてみる。話し合いを進めていく過程で、社会的な思考が身についてくると考えられる。

### 3. 実際のようなすを地図帳で確かめてみよう

実際に現在ある自動車関連の工場の分布を、地図帳P31～32「名古屋市とそのまわり 一都市のくらしー」で確認してみる。まず、愛知県内にある自動車の組み立て工場の位置を探し出し、その位置を赤で囲ませる。次に自動車部品工場、エンジン工場、自動車積み出し基地の位置を確認させ、鉛筆で囲ませる。そして、それぞれの工場や積み出し基地の位置を見て、気づいたことを発表し合う。



#### ＜予想される意見＞

「組み立て工場は高速道路に近い、豊田市周辺に集中している」「豊橋港にも組み立て工場がある」「山間部には、自動車関連の工場がない」「名古屋港には、トラックやバスの工場があり、自動車の積み出し基地がある」「部品工場は、組み立て工場の周辺の幹線道路の近くにある」…など。

子どもたちは、地図を活用しながら、豊田市を中心に自動車関連の工場がそれぞれ密接に関係をとりながら、工場が立地していることを理解してくれるであろう。

### 4. おわりに

はじめから地図を見せて、情報を提供するのではなく、自分だったらどこに自動車の組み立て工場を建てるのか予想し、話し合いをした後で実際の位置について確認してみると、子どもたちは意欲をもって地図の中の情報を読み取っていくと考えられる。

折りにふれて地図帳を活用していき、地図に親しみながら、子どもたちの資料活用能力を高めていきたいと考えている。